

令和5年1月19日  
茨城県農林水産部農地局農村計画課

【報道関係者各位】

## 「令和4年度農業農村シンポジウム」の開催について

茨城県では、茨城県土地改良事業団体連合会と共催で、農地や農業水利施設の保全管理に携わる土地改良事業関係者を参集し、農業農村シンポジウムを開催しています。

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となる今回は、地球温暖化に伴う気候変動の影響等により、豪雨災害が頻発化・激甚化し、水害リスクの増大が懸念される中、水田が有する雨水貯留機能を活用した田んぼダムについて理解を深めるため、専門家による講演や田んぼダム用落水口等の展示会を行います。

このほか、土地改良功労者表彰、農地・農業水利施設等の維持管理や農村環境の保全向上を図る活動を行う優良な団体への表彰を行いますので、是非ご取材いただき、貴媒体で取り上げていただきますよう、お願いいたします。

※田んぼダムとは…より多くの雨水を一時的に水田に貯めることで、河川等への流出を抑え、下流の住宅や農地等の洪水湛水被害の軽減を図るもの。水田があたかもダムのように雨水を一時的に貯めることから、こう呼ばれている。

○日程及び場所 日時：令和5年2月2日（木）13：00～15：00

場所：小美玉市四季文化館みの～れ（小美玉市部室 1069 番地）

○参集者

土地改良区、市町村等の農業農村整備事業の関係機関、  
多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払制度の活動組織

○参加人数

450名程度

○プログラム

13:00 開会、主催者あいさつ

13:10 土地改良功労者表彰、美しい水土里づくり優良活動表彰  
（多面的機能支払交付金部門、中山間地域等直接支払制度部門）

13:30 講演「田んぼダムの水害防止効果とその普及に向けて」  
講師 新潟大学農学部教授 吉川夏樹 氏

15:00 閉会

○主催

茨城県、茨城県土地改良事業団体連合会



田んぼダム用落水口の一例

【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県農林水産部農地局農村計画課 企画調整G 担当：小倉

TEL:029-301-4150（直通） FAX:029-301-4169